

平成31年度第1回 ISO上層委員会報告会

第108回 ISO理事会報告

2019年2月19~21日

<ジュネーブ、スイス>



2019年4月15日

一般財団法人 日本規格協会
標準化総括・支援ユニット

副ユニット長 若井 博雄

ISOの組織

Council 理事会

Standing Committee on Strategy & Planning 戦略

Standing Committee on Finance 財務

Strategy Committee (CASCO,COPOLCO,DEVCO)政策委員会

TMB (Technical Management Board) 技術管理委員会

ISO理事会関連会議 2月

19日 : CSC/SP

20日 : 次期ISO戦略策定のためのワークショップ

21日 : 理事会

ISO幹部の国籍：27か国30人

ISO幹部役員：カナダ、ケニア、イギリス、シンガポール、
オーストラリア、スイス、チリ

理事会委員：ブラジル、フランス、米国、インド、イギリス、
インドネシア、ドイツ、マレーシア、クロアチア、
エクアドル、チュニジア、コスタリカ、
アルゼンチン、日本、カザフスタン、中国、
サウジアラビア、スウェーデン、スイス、スペイン

政策委員会議長：南アフリカ、アルゼンチン、レバノン

ISOの活動記録	2015年	2016年	2017年	2018年
Total revenue (kCHF)	38,450	39,826	41,854	44,079
Operational surplus (kCHF)	2,237	5,868	4,348	5,938
Total ISO publications	1,505	1,381	1,578	1,637
IS (excluding Amendment)	1,203	1,117	1,274	
Averaged time(month) of development ISO standards	33.4	33.7	33.1	
Number of ISO experts	43,423	46,530	50,800	55,350

本日の議題:

1) 理事会決議 1/2019 ~ 23/2019

2) 話題

2/2019:次のISO戦略に関するワークショップ (1,2)

3/2019:更新版2019年戦略実施計画 (3,4)

10/2019:ISOリスク管理ポリシー (5)

11/2019:ジェンダー平等 (6)

12/2019:シンガポールにおけるREI – 改訂版目標及び
KPIに関する最新情報 (7)

17/2019:総会週間の新しいフォーマット (8)

23/2019:2018年の事務総長の業績 (9)

理事会決議 1/2019 (第107回理事会会議議事録の上程)

理事会決議 2/2019 (次のISO戦略に関するワークショップ)

協議プロセスは2019年7月から2019年10月の間に行うことに留意しつつ、2019年6月の理事会会議での検討のために、今後の戦略の主な要素及び同協議のための調査の最初の原案を含む文書原案を提出するよう事務総長に求める。

(スライドP15,16参照)

理事会決議 3/2019

(更新版2019年戦略実施計画)

プロジェクト2018_Ext_03: “代替標準化プロセス(TMBプロジェクト) – 機械可読規格”のプロジェクト業務範囲及び便益を下記に変更することを条件に、理事会文書 07/2019 附属書2に示されている通り、更新版2019年戦略実施計画を承認する。

“IECとの協議はもちろん、開発において、人間による解釈及び既存の国家又は地域イニシアティブを踏まえ、ISO内の機械可読規格の実施に対する成功したアプローチを識別する” (スライドP18~20参照)

理事会決議 4/2019

(パイロットプロジェクト“ジュネーブ以外での国際幹事週間”の評価)

シンガポールにおける地域関与イニシアティブ(REI)が主催するアジア太平洋地域でのトレーニングセッション1回と、ジュネーブでの通常の国際幹事週間トレーニングセッションを引き続き開催するよう事務総長に求め、事務総長が以下を行うことに留意する。

理事会決議 5/2019

(2020年ISO会費[ユニット単価])

総会が2020年出資金ユニット単価として金額 CHF 4,904を承認することを推奨する。

日本は、為替レートを1 CHF= 110.23円とすると、 $4,904 \times 310 \text{ units} \times 110.23 \text{円} = 167,580,000 \text{円}$ である。

理事会決議 6/2019

(2020-2021年任期のCOPOLCO議長)

Mr Guillermo Zucal(アルゼンチン)の2020-2021年任期のCOPOLCO議長としての再指名

理事会決議 7/2019

(CASCO委任事項 - ISO施行規則の改正)

“c) 国際、地域及び国家及び地域の適合性評価システムの相互承認及び受け入れ、並びに試験、検査、認証、評価及び関連する目的のための国家規格の適切な使用を促進する。”

理事会決議 8/2019

(2020年総会の会場及び日程)

ISO総会をアブダビ(アラブ首長国連邦)で開催するという招待を喜んで受け入れる。
2020年9月24日(木)~25日(金)に開催することを大筋で決定する。

理事会決議 9/2019

(理事会会議の会場及び日程)

2020年の最初の理事会会議が2月19日(水)~20日(木)にジュネーブ(スイス)で開催される。

2020年のその他の会議に関しては、

- a) 6月会議: ESG (シンガポール)から招待を受け、
- b) 9月会議: 9月23日(水)に2020年総会の会場で開催する。

JISC(日本)から2021年6月の会議、SIS(スウェーデン)から2022年6月の会議開催の招待

理事会決議 10/2019

(ISOリスク管理ポリシー)

2019年6月の理事会会議での承認のために改訂版ポリシーを提出するようCSC/SP に
求める。
(スライドP22参照)

理事会決議 11/2019 (ジェンダー平等)

国連 持続可能な開発目標(SDG) 5 “ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る”に対する気運が貿易関連組織間で高まっていることを認め、理事会文書 24/2019に示されている推奨事項に基づき、ISOの行動計画を作成するよう事務総長に求め、2019年9月の会議での承認のために同行動計画を理事会に提出するよう事務総長に求める。(スライドP23参照)

理事会決議 12/2019

(シンガポールにおけるREI – 改訂版目標及びKPIに関する最新情報)
シンガポールにおけるREIの目標及び重要業績評価指標(KPI)の見直しに関する進捗報告に留意し、会議で寄せられたコメントを踏まえ、2019年6月の会議での理事会による承認のために、同目標及びKPIに関する改訂版報告書を提出するよう事務総長に求める。(スライドP24,25参照)

理事会決議 13/2019

(リーダーシップ及び管理能力開発に関するプロジェクト提案)

割り当てられる予算の効率的な使用、e-ラーニングと対面トレーニングの適切なバランス及び本パイロットプログラムの評価に使う影響度指標に関する会議で寄せられたコメントを踏まえ、リーダーシップ及び管理能力開発に関するプロジェクトをパイロットとして承認し、

理事会決議 14/2019

(ISO/CS財政モデルの見直し)

下記を条件に、改訂版モデル4(ISO/CSに支払われる特許料使用料の閾値付き上限)を実施するというCSC/FINの推奨事項を承認する。

1. 同モデルの実施は黒字が存在することを条件とする。
2. 本決定の根拠を会員に明確に知らせるための伝達計画を作成する。
3. CSC/FINが作成することになる基準に基づき、本実施に関する評価を3年後に行う。

理事会決議 15/2019

(一般資金の管理ポリシー及びその投資ポリシー)

投資戦略及びリスクレベルはCSC/FINによって年次ベースで精査され、承認のために理事会に推奨されることに留意しつつ、一般資金の資産配分を更に承認する。

理事会決議 16/2019

(SMIICとの協力様式)

イスラム諸国規格研究所(SMIIC)の評価を精査したうえで、SMIICと正式なMoUを締結しないことを決定し、SMIICにその旨知らせ、情報交換及び能力開発といった領域での協力のための代替の仕組みをSMIIC事務局と協議するよう事務総長に求める。

理事会決議 17/2019

(総会週間の新しいフォーマット)

理事会は、総会週間のフォーマット案を承認する。(スライドP26参照)

理事会決議 18/2019

(ケープタウン[南アフリカ]での2019年総会)

ケープタウン(南アフリカ)での2019年総会を
2019年9月19日(木)~20日(金)に開催する。

理事会決議 19/2019 (理事会自己評価調査のフォローアップ)

理事会は、2019年2月18日のCSC/OVEの会議で示された同委員会の推奨事項を承認する。

理事会決議 20/2019 (副会長[技術管理]の再指名)

副会長（技術管理：Ms.Sauw Kook Choy（シンガポール））の再指名プロセスに関するCSC/NOMの推奨事項を承認する。

理事会決議 21/2019 (副会長[政策]の再指名)

総会がDr Scott Steedman(イギリス)を2020年~2021年任期の副会長[政策]として再指名する。

理事会決議 22/2019 (CPAG議長の例外的指名)

2019年のCPAG議長（販売政策諮問グループ）としてのMr Olivier Peyratの例外的再指名を承認する。

理事会決議 23/2019 (2018年の事務総長の業績)

2019年2月19日に理事会の内々の会議で事務総長の2018年の業績を評価したうえで、理事会評価を事務総長に伝えるよう会長に求める。

(スライドP27参照)

2/2019 次期ISO戦略 (1,2)

- ・次期ISO戦略は、6月に事務局案が理事会に提出され、ISO総会を挟む7月から10月の間にstakeholdersと協議が行われる。
- ・2020年2月にCSC/SPと理事会で第2案が見直され、2020年6月にCSC/SPと理事会で第3案が見直され、承認され、9月のISO総会で最終承認される。

2/2019 次期ISO戦略 (1,2)つづき

我々が行うこと：

- ・ 今後10年間のビジョン (Mission (why=reason for being)を明らかにする) と、5か年戦略を作成する。
- ・ 「ビジョンとミッション」には、今後5年から10年に関係する5個くらいのトピックスが書かれる。
- ・ ゴールとは、what we are challenging のものである。達成目標か？
- ・ 「ビジョンとミッション」作成には、What are our CHALLENGES that hinder us while reaching our vision? + What are our SUPPORTS that strengthen us while reaching our vision? を行う必要がある。
- ・ 「戦略」とは、Game plan enabling us to reach our goalであり、How are we going to achieve our goals? を追及する必要がある。
- ・ 戦略立案には、WHY (your purpose, your believe) → HOW (your process & methods, action) → What (your results, what do you do?)の順で行う。

2/2019 2019年の革新技术術 (ISO/CS)

Cloud computing, Mobile, Social networks, Cyber security, Biometrics, Big data analytics, Voice recognition, 3D/4D printing, Augmented/virtual/mixed reality, Artificial intelligence, Advanced robotics, Cognitive assistance, Internet of things/digital twins, Block chain, Autonomous transport systems, Drone, Health tech, Neutro tech, Nanotech, Quantum computing.

実行するプロジェクトの名称

Ext1:TMB;プロジェクトマネジメント

(ISO規格開発におけるプロジェクトマネジメントを改善する)

Ext2:TMB;IVP (新しいISOの仮想規格開発プロセス)

Ext3:TMB;代替標準化プロセス (機械可読規格)

Ext4:Council;オンラインラーニング

(新しいオンラインラーニングのソリューション開発)

Ext5:Council;アウトリーチプログラム (産業界及び政府のリーダーたちへ)

Ext6:Council;コミュニケーション

(ISO会員間のコミュニケーションを改善する)

improved communication with, and between, ISO members

3/2019 2019年戦略実施計画 (3, 4)つづき

Ext7:ITSAG;eCommmiteeの代替
(新しい文書管理ツールと協働ツール)

Ext8:ITSAG;新しいオンライン協働執筆ツール
(コメント作成ツールも含む)

Ext9:ITSAG;API (IEC共同)
IECと整合した新しいAPI (文書、投票、会議、IDと役割付与用)

Ext10:ITSAG;NISO-STS XML
(ISO会員とそのパートナーのNISO-STS XMLベースの出版採用を支援する)

Ext11:新しい(Council)戦略的プロジェクト;
リーダーシップ&マネジメント開発 (すべてのISO会員向け)

3/2019 2019年戦略実施計画 (3, 4)つづき

Ext12:新しい (COPOLCO) 戦略的プロジェクト;構造と戦略

Ext13: 新しい内部プロジェクト;顧客中心革新的な考え方

Ext14: 新しい内部プロジェクト;新しい人事情報システム

Ext15: 新しい内部プロジェクト;ISO/CSのITインフラの変革

Ext16: 新しい内部プロジェクト;関係管理ソリューション

ITSAGからの報告：

- ①オンライン共同執筆ツール
- ②e-Committeeの入れ替え
- ③WebExからZoomへの入れ替え
- ④ISO/CSのIT進化
- ⑤その他製品管理DB、ISO,IEC,CEN,CENELEC間のプロジェクト及び発行物のためのインターフェースの統合化、NISO XML スキーム実施と規格開発プロセスにおけるXML技術仕様の拡大、並びに、IT事業におけるIECとの協同、
以上が説明されたが、理事会の関心はとにかくIECとの協同を進めることであった。

10/2019 ISOリスク管理ポリシー (5)

リスク大：（リスクオーナー）

- ・マーケットニーズにミートできない（TMB）
- ・エキスパート不足（TMB）
- ・競争激化（SP、CPAG）
- ・ISOの知的財産権の喪失（CPAG）
- ・外部要因によるブランド力失墜（SP）

リスク中：

- ・ISOの債務不履行（FIN）
- ・外部パートナーとの協働の効果上がらず（SP）
- ・非効果的または誤ったコミュニケーション（SP）
- ・不完全な戦略展開（SP）
- ・データ・情報の消失・改ざん（ITSAG）
- ・人材および知識の流出（Council, TMB）
- ・ISO会員の結束・参画意識の欠如（SP）

リスク小：

- ・法規・政治の変化（SP）
- ・誤った規格（TMB）
- ・職員の違法行為（OVE）
- ・非効率的購買および第三者リスク（外部委託の場合）（FIN）
- ・コンプライアンス違反（OVE）

11/2019 ジェンダー平等：推奨事項 (6)

- a) IEC、ITUと協調し、SDG 5の実施を支援するためにISOができ、取れるイニシアチブにおいて関連国際機関と関与を継続する。
- b) ISO業務における代表者の男女比を2019年をベースラインとして、ISO会員のCEO、ISOガバナンスグループ、ISO専門委員会を横断して性別内訳に関して定期的にデータ収集し、理事会に報告する。これらのデータをより広範な会員及び規格コミュニティ、例えば総会時や年次報告書において周知する。
- c) ISO専門委員会が、ジェンダー対応規格と同様、性別に偏見及び／またはマイナスの影響を回避するジェンダー中立規格を開発するのに助けとなる男女間の差異を考慮に入れたガイドライン作成に関し、TMBに助言を求める。
- d) ISO会員がジェンダー対応方針及びアクションをもっと採用する指針と支援となりうる優良実施事例集作成のため、会員から事例を収集する。

12/2019 2019年—20年の提案された、REI KPI (7)

KPI 1: ISO規格の使用増加 : Increased use of ISO standards

販売収入と販売件数、国家採用数、地域整合化に使用されたISO規格数

KPI 2: 規格開発参加の増加 : Increased participation of standards development

P/Oメンバー数、投票成績、地域からの提案数、ツイニング協定数、

KPI 3: ステークホルダー関与増加と認知向上: Increased engagement and awareness of stakeholders

働きかけ数、ハイレベルへの働きかけ数、

効果 (NSB・決定権者との交流、メディア取り上げ数、政策変更)

12/2019 2019年—20年の提案された、REI KPI (7)つづき

KPI 4: 能力構築における発展途上国関与の増加: Increased engagement of Developing Countries in capacity building

ワークショップ参加数、参加率、WS後のフォローアップの結果、メンバーからのインプット及びニーズ取組、国家標準戦略・ステークホルダー関与計画作成

KPI 5: 協同と資金提供の増加: Increased collaborations and funding

パートナーシップ数、確保された援助や資金、他のパートナーと達成したマイルストーン（初めての接触、規格原案提案、パートナーシップ又はREIによりなされた活動）、確保できた援助や資金は単にREI運営費以上のものが好ましい。

17/2019 総会週間 (8)

ISO総会 week	午前	午後
9月16日(月)	DEVCO/TMB	DEVCO/TMB
9月17日(火)	DEVCO President's Committee	Structured networking CSC/OVE TMB Workshop
9月18日(水)	Council Structured networking	Council Structured networking
9月19日(木)	General Assembly	General Assembly
9月20日(金)	General Assembly	General Assembly

1.Operational objective

Objective 1: Careful management of ISO/CS budget

Objective 2: Optimal ISO/CS Internal process for standards development

Objective 3: High availability of ISO applications

2.Strategic objectives

Objective 4: Successful deployment of the Strategy Implementation Plan2019

Objective 5: Optimal financing and successful deployment of the work program of the ISO Capacity Building for 2019

3.Behavioral objectives

Objective 6: Effective communication and positive working atmosphere with Council

ご清聴ありがとうございました

<お問い合わせ先>



一般財団法人 日本規格協会

国際標準化戦略ユニット

TEL : (03)4231-8520

E-mail : kokusai3@jsa.or.jp